

2019年 10月

北星学園大学・北星学園大学短期大学部

2021年度以降の入学者選抜方法について

本学では、2019年4月および8月に、2021年度以降の入学者選抜方法に関する告知を行ってきたところです。しかし、「英語4技能評価のための外部検定試験利用」についての現在の社会的な状況に鑑み、10月7日、学長名で外部検定試験の利用について本学の方針を変更する旨、皆さまにご案内申し上げたところがございます。つきましては、外部検定試験利用について変更を踏まえて、2021年度以降の入学者選抜の方法に関して改めて整理したものを以下の通り告知いたします。なお、8月の告知からの変更点は黄色のマークで示しております。

この度は、英語4技能評価のための外部検定試験の利用について告知後に方針を変更したことにより、高校生をはじめ関係者の皆さまにご心配・ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げるとともに、皆さまにはご理解いただけますよう宜しくお願いいたします。

I. 入試区分の変更

2020年度入試(2019年度実施)		2021年度入試(2020年度実施)
一般入試		一般選抜
大学入試センター試験利用入試		大学入学共通テスト利用選抜
【大 学】公募推薦入試 【短期大学部】自己推薦入試	⇒	総合型選抜
指定校推薦入試		学校推薦型選抜
特別入試		特別選抜

II. 一般選抜の変更点

1. 英語4技能の評価のための外部検定試験利用について

- **2021年度一般選抜において外部検定試験は利用しません。**また、2022年度以降の利用の有無および利用の方法等については改めてお知らせいたします。

2. 「主体性等」の評価について

- インターネット出願時に、これまでに主体的に取り組んだ学びや活動などについて、200字程度で記入することを求めます。また、記入の内容は、得点化することにより合否判定に利用します。大学は全学部で5点満点、短期大学部は3点満点とし、一般選抜試験の得点に加算します。
- 記入する内容および文字数などについては、2021年度入学試験要項でご確認ください。
- 「調査書」の評価(得点化)については、2021年度入学試験では実施しません。
- Japan e-Portfolio は利用しません。

3. 試験科目および配点について

- 2020 年度入試(2019 年度実施)からの変更はありません。

III. 共通テスト利用選抜の変更点

1. 英語 4 技能の評価のための外部検定試験利用について

- 出願時の提出書類として、大学入試英語成績提供システムへの参加が認められており、かつ 4 技能が評価される検定試験のうち、いずれか一つの成績証明書の提出を求めます。
- 上記の成績証明書の提出のほか、大学入試センターが設ける「大学入試英語成績提供システム」による成績の提出も認めます。
- ただし、現在の外部認定試験の実施状況および高等学校等における利用状況等を鑑み、2021 年度入試における外部試験の利用は次の通りとします。
 - * 出願時に提出する成績証明書のスコアは問いません。
 - * 受験の前年度以降(現役生であれば高校 2 年生以降)に受験したすべてのスコアを有効とします。
 - * GTEC のアセスメント版および TOEIC による出願を有効とします。

2. 国語および数学の記述式問題の取扱いについて

- 国語の記述式問題の段階別成績評価については、活用する方向で検討中です。
- 数学の記述式問題は、従来のマークシート方式と同様に取扱います。

3. 試験科目および配点について

- 英語のリーディングおよびリスニングの配点については、変更の可能性があります。
- 「主体性等」の評価を行います。(以下、「4. 「主体性等」の評価について」参照)。
- 上記以外の点については、2020 年度入試からの変更はありません。

4. 「主体性等」の評価について

- インターネット出願時に、これまで主体的に取り組んだ学びや活動などについて、200 字程度で記入することを求めます。記入の内容は、得点化することにより合否判定に利用します。大学は全学部学科で 10 点満点、短期大学部は 5 点満点とし、共通テストの得点に加算します。
- 記入する内容および文字数などについては、2021 年度入学試験要項で改めてご確認ください。
- 「調査書」の評価(得点化)については、2021 年度入学試験では実施しません。
- Japan e-Portfolio は利用しません。

IV. 総合型選抜

1. 総合型選抜の導入について

- 2021 年度入試から、大学の全学部および短期大学部で総合型選抜を新たに実施します。なお、これに伴い、大学の公募推薦入学試験の実施を 2020 年度入試で取止めます。

2. 選抜方法および試験実施日等について

- 1次試験（書類）、2次試験（各学科が指定する学力試験および面接）により選抜します。
- 出願締切は10月上旬、1次試験の合否発表は10月中旬、2次試験の実施は10月下旬、2次試験合否発表は11月中旬を予定しています。
- 2次試験の内容は、受験する学科によって異なります。それぞれの学科において、〈小論文〉、〈指定した文献についての記述式試験〉、〈プレゼンテーション試験〉、〈講義の受講後にその内容を問う学力試験〉、〈事前レポートの内容を問う口頭試問〉、〈英語4技能試験〉、〈面接試験〉などを実施する予定です。2次試験の詳細については、2021年度入学試験要項でご確認ください。

3. 出願資格および提出書類等について

- 本試験に合格した場合、本学に入学することを出願の条件とします。また、本学が指定する入学前教育に積極的に取り組むことも同様とします。
- 文学部英文学科は、CEFRがB1以上であることを出願資格とします。
- 提出書類として、「学修計画書」（様式指定）の提出を求めます。
- 事前レポートの提出を求めます（テーマは学科ごとに指定）。
- 評定平均値（学習成績の状況）は、出願基準としては利用しません。

4. 自己推薦入試(短期大学部)について

- 短期大学部の自己推薦入試は、継続して実施します。
- 出願期間は11月中旬、試験日は11月下旬、合格発表は12月上旬を予定しています。
- 試験内容は以下の通りです。

短期大学部	
英文学科	① 口頭試問（英語） ② 個人面接（日本語）
生活創造学科	① 小論文（800字程度） ② 個人面接

V. 学校推薦型選抜（指定校推薦入試）の変更点

試験方法について

学力の3要素を多面的・総合的に評価する観点から、従来より実施している「面接試験」に加えて次に掲げる学力試験のうちから1つまたは2つの試験を実施します。試験の内容は、受験する学科によって異なります。詳細については、2021年度入学試験要項でご確認ください。

- ① 口頭試問試験
- ② 小論文試験
- ③ 英語4技能試験